

コロナ禍での防災力強化について

河田 和美 議員

問 ①パルスオキシメーターや防護服の備蓄状況は？
②自然災害の専門知識を持った気象防災アドバイザーの今後の利用は？③浸水の危険のある箇所に浸水深の表示の設置や、耳の聞こえない方・外国人の方が一目見て判るピクトグラム（絵文字）の導入は？

答 ①パルスオキシメーターは1月、2月で計12台、防護服は12セット、簡易ビニールエプロンは60枚を備蓄しています。②市職員や消防団員等、防災担当者に対する研修会等で防災講演の依頼を検討します。③浸水深の標識は市民交流館付近と郡山東中学校付近にあり、今後は地域のご意見や他市町村の状況を参考に検討してまいります。ピクトグラムについては今後研究いたします。

児童虐待・DV等の人権侵害の現状と今後について

西村 千鶴子 議員

問 コロナ禍で児童虐待やDVに関する相談が増加しているが、これをどのように捉えているか。また、深刻化するまでに相談出来る体制強化や、未然防止を図るための各機関・団体等との連携等、今後の方針を問う。

答 コロナ禍において、大変窮屈な日々を強いられる中、人権侵害とも言える児童虐待やDVが増加することは重大な問題であると捉えます。これらの被害の早期発見や未然防止のため、誰もが利用しやすい相談環境となるよう、将来的には相談室の増設等を図り、また気軽にご相談いただけるよう、トイレ各個室への相談カード貼付等による相談窓口の周知を徹底し、関係課及び関係機関と連携の上、より一層の充実を図ります。

防災の啓発について

関本 真樹 議員

問 ①昨年4月に総合防災マップを配布しているが、自主防災組織等での活用状況は把握しているか。
②小学校において、学校にいる時だけでなく登下校時や放課後など様々な場面での地震対応を指導できているか。

答 ①アンケートや調査は実施しておりませんが、ご来庁の市民の皆様からは概ね今回作成した防災マップは見やすいとのご意見をお聞きしています。
②防災教育については、休み時間や給食時間、掃除時間など授業以外の時間を利用して防災訓練を実施する学校が増えてきており、自助・共助・公助の視点を適切に取り入れながら、自ら行動できるよう学習を進めてまいりたいと考えております。

県域水道一体化問題について

丸谷 利一 議員

問 県域水道一体化で、本市は覚書を締結せず協議会に入らなかったことは評価する。この問題は、本市の82億円の留保金と災害濁水に強い地下水源を守るかどうかの問題である。県に対しては、本市の財産・負債の企業団への引継ぎや貴重な地下水源を守る公平なルール作りを主張し、それが通らなければ一体化に入るべきではない。

答 単独経営の覚悟を持ちつつ、県域水道一体化の動向を注視し、機会を捉えて資産等の引継ぎに関するルール作りや浄水場の存続意義などを県に説明していきたい。市民の財産を守り抜くという立場を堅持します。

・他の質問項目：コロナワクチン接種について

国民健康保険について

尾口 五三 議員

問 ①保険税率がどのようになるのか。②減免措置要綱と減免等取扱要綱は改正するのか。③令和2年度の決算見込みは。④コロナ禍のもとで、令和6年度の保険税の統一を延期する考えはありますか。など質問して、市が何らかの対策をすべきと指摘しました。

答 ①令和3年度の本市の保険税率は据え置くこととしました。②減免制度の統一化は原則として令和3年度を目処に実施する方針のため改正を行います。③令和2年12月末時点で推計したところ、単年度収支で8千万円程度の赤字と見込んでいます。④保険税率の統一化は全市町村協議のうえ、県国保運営方針に明記されており、導入時期を本市単独で延期することはできないと考えています。

①がん対策について②公共施設のトイレ改修について

福田 浩実 議員

問 ①コロナの影響で、がん検診の受診者数が下がったことに対し来年度の対応策は？②中学校のトイレ全面改修工事の予定は？観光施設や市民交流館の便座を温水洗浄便座に改善する予定は？

答 ①市の広報で積極的な啓発活動を行うとともに、新型コロナウイルスの接種を進めることで安心して医療機関を受診していただける状況を作り出します。②国の優位な交付金活用も視野に入れ、より有効で効果的な手法を検討してまいります。観光施設等のトイレを温水洗浄便座にすることは、トイレを利用する観光客や市民の利便性を高めることにつながります。和式トイレも残し洋式トイレは順次、温水洗浄便座への取替えを進めていきます。